

一般社団法人 朝霞地区薬剤師会
会長 大八木 実 様

朝霞市こども部長 玄順 正明

里親制度における医療受診について（依頼）

仲秋の候、貴職におかれましては、益々、御清祥のことと存じます。

平素、本市の児童福祉行政ならびに母子保健行政の推進につきまして、格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「里親制度」は、両親の病気や離婚などにより家庭で養育できない、あるいは保護者の不適切な養育のため、家庭で暮らすことができない子どもを里親が保護者に代わって養育するものですが、その里親に委託されている子どもは、「健康保険証」及び「受診券」を持参することで、保険適用の医療費が公費で負担され、自己負担なく、安心して医療受診ができることになっております。

しかしながら、この制度が会計担当者に周知されていないところもあり、医療費の支払方法について、里親と齟齬が生じ、窓口で混乱する場面も起きております。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、下記のとおり、貴会員各位に対する周知に改めて御配慮くださいますようお願い申し上げます。

記

○里親制度における医療受診について

従前から実施されている制度で、変更点は特にありません。

○受診券について

埼玉県各児童相談所が発行するもので、別添「受診券（見本）」を御参照ください。

○医療費の請求について

医療費の自己負担分は、埼玉県が社会保険診療報酬支払基金、または国民健康保険団体連合会を通じて医療機関に支払います。

※受付窓口等での呼び名について

実名を使用している子どもと通称名を使用している子どもがいるため、子どもの混乱を避けるため、受診券に「通称名」が記載されている場合は、通称名でお呼びください。

【問い合わせ】

- ・ 里親制度に関すること
各児童相談所（別添パンフレットを参照）
- ・ 本通知に関すること
朝霞市こども部こども家庭課こども相談係
電話：048-463-0364（直通）

医療機関の受診また証明書の発行について

1 受付窓口等での呼び名について

里親に委託されている子どもには、普段、実名を使用している子どもと通称名を使用している子どもがいます。待合室等での呼び方で子どもが混乱することがあります。受診券に通称名が記載されている場合には、通称名での呼び方をお願いします。

2 里親に委託されている子どもの医療費について

里親委託中の子どもの診療に必要な医療費は、健康保険が適用される場合は「受診券」により公費で負担され、自己負担はありません。里親委託中の子どもが医療機関を受診する場合は子どもの「健康保険証」と「受診券」、あるいはその子どもが無保険のときは「受診券」のみを持参します。御不明な点は担当の児童相談所までお問い合わせください。

3 受診券による医療費の請求について

里親が受診券を提示した場合の医療費の請求は、受診券の裏面のとおりです。医療費の自己負担は、埼玉県が社会保険診療報酬支払基金、国民健康保険団体連合会を通じて医療機関に支払います。

受診券の見本

受診券		年月日交付	
公費負担証番号	58118018	交付年月日	
健康保険証番号	00000000	交付場所	
姓(氏)		児童(子)の氏名	
(姓)		生年月日・性別	
健康保険証 有() *		健康保険証 有() *	
交付番号		交付場所	
交付機関		交付場所	
連絡先		交付場所	
請求方法等は裏面に記載		交付場所	

※「有()」欄は、有()、無()のいずれかを記入する。(裏面)

4 柔道整復師(接骨院)の扱いについて

接骨院を利用する場合は、里親関係諸費請求の手引き・様式「施術療養」証明書兼領収書の医師の同意書が必要です。接骨院では「受診券」は使用できません。里親が費用を立て替え、立て替え分は領収書と上記「施術療養」証明書兼領収書で県(里親会)に請求することになります。

5 証明書について

証明書は埼玉県が必要としているものです。発行につきましては格別のご配慮を賜りますようお願いいたします。

里親制度は児童福祉法に規定されているものです。

里親の認定登録は、知事が児童福祉審議会に諮問して行います。子供の委託は、児童相談所が行います。

里親や委託中の子どもの支援は、里親会や児童相談所などの関係機関が連携して行います。

埼玉県の「里親制度のご案内」
ページはこちら→



問合せ先

NEW! 朝霞児童相談所
☎048-465-4152

- お住まいの地域の児童相談所にお問い合わせください。

中央児童相談所
☎048-775-4152

熊谷児童相談所
☎048-521-4152

南児童相談所
☎048-262-4152

越谷児童相談所
☎048-975-4152

川越児童相談所
☎049-223-4152

草加児童相談所
☎048-920-4152

所沢児童相談所
☎04-2992-4152

管轄の児童相談所はこちら↑



- さいたま市にお住まいの方は、以下にお問い合わせください。

さいたま市北部児童相談所
☎048-711-3917

さいたま市南部児童相談所
☎048-711-2489

さいたま市管轄の児童相談所はこちら↑



総合問い合わせ先

一般社団法人 埼玉県里親会

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5
埼玉県浦和合同庁舎 別館2階
☎048-764-8110

「赤い羽根共同募金」の助成を受けて作成しています。



里親制度の ごあんない

＜学校・医療機関等の方へ＞
ぜひご一読いただき、里親制度ご理解の一助
としてくださいますようお願いいたします。



里親制度
とは

様々な理由により家庭で養育できない、あるいは保護者の不適切な養育のため家庭で暮らせない子どもたちを一時的又は長期的に、里親が保護者に代わって温かい愛情と家庭的な雰囲気の中で育てる制度を「里親制度」といいます。

一般社団法人 埼玉県里親会

幼稚園・学校での受入れに当たって

里親委託中の子どもだからといって、同情的になったり、特別な扱いをしたりする必要はありませんが、子どもが新しい環境になじめるよう、里親とよく話し合いながら対応してください。

また、以下の事項については御配慮をお願いします。

1 姓について

里親の多くは、委託中の子どもについて里親と同じ姓（以下「通称名」という。）を名乗らせたいと考えています。それは、里親子関係の安定のためにも、周囲の不必要な憶測を生まないためにも、大切な方策の一つです。里親から希望が出された場合には、法令で定められたもの以外については通称名の使用とともに、通称名で呼んでください。

2 生いたちを扱う授業への配慮について

生いたち等の授業で、子どもに対し母子手帳・乳児期の写真・乳児期に使用していた物を持参させることがあるようです。里親に委託された子どもの中には、生後間もなく児童福祉施設に入所したり、在宅で放任されていたりした子がいます。こうした教材が必要な場合には、事前に里親に連絡していただき、適切な対応をお願いします。

3 卒業証明書について

卒業証書は、戸籍上の実名で作られますが、里子が通称名を使用している場合には、実名と通称名の証書をそれぞれ作成し、式場では通称名の証書を手渡すという方法をとっていただいています。あるいは戸籍名の証書であっても式場では通称名で呼ぶという方法をとるなど、子供の不利益にならない配慮をしていただいています。里親と連絡をとりあい、適切な対応をお願いします。

4 証明書の作成について

《幼稚園》

幼稚園に入園・在園する場合、各種補助金対象外費用の支給を受けるために必要な書類です。里親から請求があった場合には作成をお願いします。

《学 校》

里親が、委託中の子どもにかかる教材費等の支給を受けるために、下記一覧表のとおり、学校長の証明が必要なものがありますので、作成をお願いします。

なお、公立・私立を問わず高等学校の場合は、教育費の支援として就学支援金が支給されます。各種補助申請については、適切な対応をお願いします。

幼稚園長及び学校長の証明書が必要な主な証明書類一覧			
		内 容	作成時期
幼稚園	幼稚園入園・在園証明書兼保育料等納付証明書	幼稚園就園に必要な入園費、保育料、制服等の費用支給のため	1～2月に作成 3月初旬
	幼稚園指定用品証明書		
	幼稚園補助金等支給証明		
小・中学校	在学証明書	教育費及び入学支度金支給のため	年度始め 中途委託の場合 その時点
	給食費証明書	学校給食費支給のため	
	指定教材証明書	学校で使用する教材の費用支給のため	学期ごと3月は初旬
	夏（冬）季特別行事 参加証明書	林間学校やスキー教室等学校で実施する特別行事参加費の支給のため	実施後速やかに
共通	部活動費用証明書	中学・高校の部活動に必要な道具代・遠征費等	適宜
	修学旅行（見学旅行）参加証明書	小学校6年・中学校3年・高校生等の修学旅行費の支給のため	実施後速やかに
高校	高等学校等在学証明書	高校教育費、入学支度金支給のため	年度始め中途委託の場合その時点
	高等授業料・教材費等内訳証明書 他	教材費・学級費・各行事費・父母会費・生徒会費等支給のため	3月初旬までに

※所定の様式があります。里親の申請により作成してください。

受診券

年 月 日交付

公費負担者番号

受給者番号

施設等名

(措置年月日) (年 月 日)

施設等住所

児童氏名(通称名)

生年月日・性別 年 月 日・

被保険者証

保険者番号

記号番号

交付機関名

埼玉県 児童相談所長

(連絡先)

※請求方法等は裏面参照

《医療機関の皆様へのお願い》

この「受診券」(法別53)を持参した患者は、児童福祉法により、埼玉県が児童福祉施設又は里親へ措置している児童です。保険適用の医療費の自己負担分については埼玉県が負担しますので、窓口での費用徴収はしないようお願いします。

- 1 請求先は表面の「被保険者証」の記載状況により異なります。

被保険者証	請求先
有(国)	国民健康保険団体連合会
有(社)	社会保険診療報酬支払基金
無	

- 2 御不明の場合は、表面の児童相談所までお問い合わせください。